

目次

はじめに

1. マスタープランの目的と役割

1.1 マスタープランの目的	1 - 2
1.2 マスタープランの役割	1 - 2
1.3 ポスト・マスタープランに向けて	1 - 3
1.4 マスタープランの章構成	1 - 4

2. 大学改革と学術拠点形成

2.1 大学改革と学府・研究院制度	2 - 2
2.2 大学の組織構成	2 - 4
2.3 移転フレーム	2 - 6
2.4 学術拠点形成	2 - 8

3. 立地条件と環境資源

3.1 社会環境	3 - 2
3.2 自然環境	3 - 4
3.3 歴史環境	3 - 8

4. 求められる新しいキャンパス像

4.1 新しいキャンパス像の原点	4 - 2
- 新キャンパスの基本的考え方	
4.2 アジアを軸に世界各地と連携するキャンパス像	4 - 3
4.3 地域まちづくりと連携するキャンパス像	4 - 4
- 九州大学学術研究都市構想	
4.4 21世紀を生き続けるキャンパス像	4 - 8
4.5 新キャンパスに求められる性能	4 - 10

5. 全体計画目標

5.1 新キャンパスの全体計画目標	5 - 2
5.2 マスタープランの構成と検討のフロー	5 - 4

6. 全体計画方針と戦略

6.1 学府・研究院制度の理念を実現する 空間構成とその管理・運営の確立	6 - 2
6.2 東西骨格に支えられる総合大学としての 一体的な研究・教育環境の構築	6 - 4
6.3 経営を視野に入れた産学・地域連携と国際交流の 拠点「タウン・オン・キャンパス」の戦略的育成	6 - 6
6.4 民間施設等の活用や立地誘導による 研究・教育の活性化と生活支援の促進	6 - 8
6.5 伝統を創り出す象徴的空間と 柔軟に変化・増殖する空間の共存	6 - 10
6.6 糸島地域の悠久の歴史と自然との共生	6 - 12
6.7 安心・安全で快適なキャンパス環境の整備	6 - 14
6.8 多様な技術に支えられた サステナブル・キャンパスの形成	6 - 16
6.9 新しいシステムの創造にチャレンジする 実験都市の構築	6 - 18

7. 骨格形成と土地利用の方針

7.1 土地利用の条件	7 - 2
7.2 ゾーニング	7 - 4
7.3 眺望と景観	7 - 6
7.4 骨格の形成	7-10
7.5 学府・研究院制度の空間構成	7-20
7.6 施設配置の方針	7-21
7.7 アカデミック・ゾーンの土地利用の方針	7-22
7.8 農場ゾーンの土地利用の方針	7-28
7.9 運動施設ゾーンの土地利用の方針	7-30
7.10 保全緑地の土地利用の方針	7-32
7.11 土地造成の方針	7-34

8. 交通計画

8.1 交通計画の方針	8 - 2
8.2 歩行者交通計画	8 - 2
8.3 パーソナル交通計画	8 - 4
8.4 公共交通計画	8 - 8

9. 設備インフラストラクチャー計画

9.1 設備インフラストラクチャーの整備方針	9 - 2
9.2 主要設備計画	9 - 4
9.3 インフラストラクチャーのネットワーク	9 - 6

10. 計画方針に基づく空間モデル

10.1 ウエスト・ゾーン	10 - 4
10.2 センター・ゾーン	10-12
10.3 イースト・ゾーン	10-18
10.4 農場ゾーン	10-24
10.5 運動施設ゾーン	10-25
10.6 エネルギー供給計画	10-26
10.7 空間モデルの計画諸元	10-27

11. 段階的整備の方針

11.1 段階的整備のプロセス	11 - 2
11.2 地域と連携した段階的整備のための対応	11 - 5

12. 管理・運営の方針と体制

12.1 管理・運営の体制とシステム	12 - 2
12.2 総合的な管理・運営とセキュリティのシステムの導入	12 - 3
12.3 災害に強いキャンパスを目指した管理・運営	12 - 4

おわりに

参考資料・文献リスト
